

### 3. まちなみガイドライン

「空堀ならではのまちなみの魅力を次世代に引き継ぎ、伝統と新しいものとを共存させながら多世代が楽しく暮らせるまちにしたい・・・。」

そうした想いから、HOPEゾーン協議会では、まず、地域の人々がまちなみづくりに対する共通認識を持ち、それを具体化するための「住宅や店舗などの外観デザインや色等についての基本的なルール」が必要だと考え、協議会役員が中心となり、地域の皆さん、専門家、大阪市とともにまちなみづくりのルールとなる『まちなみガイドライン』を作成しました。

まちなみガイドラインは、次のような構成になっています。

まちなみづくりとは、建物や塀などの外観を「修景」する(まちなみを揃える)ことをさします。

まちなみガイドラインの構成.....

#### まちなみづくりに向けてみんなで共有し守りたいこと

空堀らしいまちなみづくりを進めるために、みんなで共有するまちなみの将来イメージと、そのイメージを実現するために、みんなで守っていききたいまちなみづくりの基本的なポイントをまとめたものです。

##### 3-1 空堀地区がめざすまちなみの将来イメージ

- まちなみづくりのテーマ
- まちなみづくりの3つの方針

##### 3-2 修景のポイント

#### 補助制度を活用して修景する場合には...

建物等の種類別、部位別に記した具体的な修景基準です。これを満たすものは、外観の修景整備に係る費用の一部について補助を受けることができます。

##### 3-3 修景基準

- 伝統的建物などの修景基準
- 建築設備・付帯物などの修景基準
- 新しい建物などの修景基準
- 路地空間やオープンスペースの修景基準

### 3-1 空堀地区がめざす、まちなみの将来イメージ

#### □まちなみづくりのテーマ

空堀らしいまちなみづくりのテーマは次のとおりです。

## お地蔵さんが見守る つながりを生かすまちなみ

### 「時代」と「世代」、そして「心」のつながり

空堀には、昔ながらの町家や長屋と、それらを生かした新しいお店やお家などが、通りや路地(ろーじ)、坂道や石畳に沿ってつながり、どこかなつかしく、今昔(こんじゃく)を感じる風情あるまちなみがあります。

また、そうした昔ながらのまちなみを見守り続けるお地蔵さんが、おばあちゃんとお孫さん、大人と子供、古くからこのまちに住む人と新しく越してきた人等、多くの人々の間に世代を超えたつながりを生み出し、やさしいまちなみをつくっています。

そして、こうしたまちなみの中では、近所づきあい、井戸端会議、世話焼きのおくさんなど、温かい人のつながり、心のつながりがしっかりと残っています。

このテーマには、こうした「つながり」を生かして、空堀らしいまちなみを守り、つくっていききたいという思いが込められています。

人と人とのつながりを大切に、みんなで協力しながら、点から線へ、線から面へとまちなみの輪(つながり)を広げていきましょう。

### □まちなみづくりの3つの方針

まちなみづくりのテーマに沿った、まちなみづくりの3つの方針は次のとおりです。

#### ①昔ながらの建物は、特色を活かしながら今の生活に合わせて大事に使い、次世代に引き継ぐ

空堀にある伝統的様式の建物は、かつての大阪の都市居住の姿を今に伝える貴重な財産です。

先人の知恵の込められた伝統のよさを大切にしながら、現代の生活やお商売に合わせて磨きをかけていくことで、次の世代・時代にも伝わっていきます。

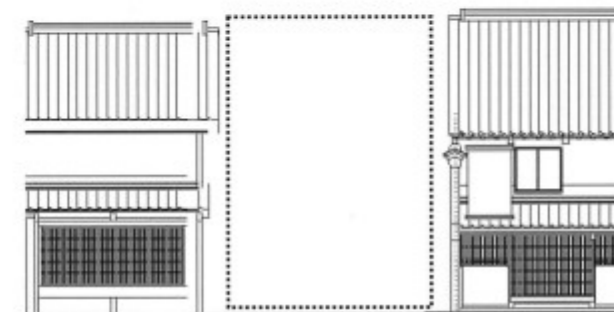
また、伝統的様式の特徴と新しいデザインをうまく融合させることにより、建物の魅力も際立ちます。



#### ②新しい建物は、昔ながらの建物のよさをとり入れて、まちなみとのつながりを大切にする

伝統的様式以外の既存の建物を改修したり、新しく建てる時には、伝統的様式の建物の知恵やデザインをとり入れるなど、まちなみに調和するよう工夫することで、まちなみのつながり(連続感)ができるほか、まちの新たな魅力も生まれます。

また、空堀には、御祓筋や熊野古道などの歴史的道筋、商店街など、昔ながらの様式の建物や様々な用途の建物がうまく混じりあい、通りごとに異なった表情があります。こうした通りごとの特徴を意識したまちなみづくりをめざしましょう。



#### ③先人から受け継がれてきた路地の雰囲気や、お地蔵さんなどまちに残る文化を大切にする

まちを縦横に走る路地(ろーじ)や、坂道・石段は、先人から代々受け継がれた生活の場であるとともに、空堀ならではの魅力です。

冠木門(トンネル路地)や石敷など、表通りからも感じられる路地の雰囲気や、坂道・石段と建物との調和を大切にすることで、空堀らしいまちなみがきわだちます。

また、空堀には町家や長屋をはじめとした伝統的様式の建物のほかにも、お地蔵さんやお稲荷さんなど、空堀の歴史や文化を伝える場所がたくさんあります。

これらは、祭事などを含めてこれまで空堀を見守りつづけてきた場所であり、これらを受け継ぎ、大切にすることでまちなみにも磨きがかかります。

